

高機能無停電電源装置

APC ES 550 9 Outlet 550VA 1 USB 100V

APC ES 750 9 Outlet 750VA 2 USB 100V

(型番 : BE550M1-JP/BE750M2-JP)

仕様書

シュナイダーエレクトリック株式会社

1. 納入仕様書改版履歴

納入仕様書改版履歴


発行 年月日	変更ページ 変更図番	Rev.	変更理由・変更内容	記印
2016.12.28	新規発行	1	初版発行	KH
2017.4.7	P.8	2	バッテリー送付先変更	KH
2017.8.2	P.9,10,21,22	3	誤記訂正、外形図追加	KH


2. 安全に関する情報


APC 製品、バッテリーの設置および保守の際に従うべき注意事項が記載されています。APC 製品のセットアップ、設置、再配置、保守を担当されるお客様は本仕様書および製品に同梱されているユーザマニュアルを必ずお読みの上、指示に従ってください。

本仕様書で使用する規約

このセクションでは、本仕様書を通して使用する記号を定義します。必ず全てに目を通して、指示に従ってください。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。
---	--

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
---	----------------------------

 注意	人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。
---	--

取扱い時の安全確保のために

注意

- ・ UPS の質量にご注意ください。装置を持ち上げるときはしっかりと持って運んでください。無理に持ち上げると腰等を痛めたり、落としてケガをすることがあります。

<18 kg (40lb.)



- ・ 10° 以上の傾斜のある場所での移動は避けてください。
- ・ 本装置の上に乗ったり、物を載せないでください。倒れたり、落ちたり、壊れたりしてケガをすることがあります。
- ・ 本装置を不安定な場所に設置しないでください。本装置が倒れ、ケガをすることがあります。
- ・ 常時震動する場所や、衝撃の発生する場所には設置しないでください。故障の原因となります。

警告

- ・ 本装置は内部にバッテリーを含んでいます。AC 電源に接続されていない場合でも、出力コンセントに電圧が出力されていることがあります。
- ・ UPS の電源が入っている時は電源ケーブルの入力プラグを抜かないでください。本装置または本装置に接続された機器から安全接地が外れてしまいます。
- ・ 発火または感電の危険性をなくすために、本装置は、温度、湿度管理された、清潔で誘電性の汚染物のない室内に設置してください。水の近く、または極度に湿度の高いところでは使用しないでください。
- ・ 本装置内部に異物を入れないでください。金属類や燃えやすいもの等の異物が入ると内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。万一、異物が入った場合は、本装置をオフにし、電源を切ってから電源ケーブルを抜いて、弊社までご連絡ください。
- ・ 本装置内部に水等の液体を入れないでください。感電や火災の原因となります。万一、液体が入った場合、本装置をオフにし、電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグを抜いて、弊社までご連絡ください。
- ・ 本装置をほこりの多い所に設置しないでください。ほこりがたまり、内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。
- ・ 塩分や腐食性のガスの発生する場所では使用しないでください。
- ・ 本装置の吸気口および排気口をふさがないでください。本装置内部の温度が異常に高くなると、誤動作・故障の原因となるばかりか、火災の原因となります。
- ・ 本装置を直射日光や熱器具の熱が当たるような場所に設置しないでください。熱により火災の原因となります。

電気的な安全確保のために

危険

- ・ 引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。
- ・ 本装置の使用中に異音、異臭の発生や異常が生じた時は、直ちに本装置の電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグをコンセントから抜いてください。使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。
- ・ 絶縁耐圧試験、絶縁抵抗試験を行うことを禁止します。発煙、火災、故障の原因となります。
- ・ 強い衝撃や震動を与えないでください。本製品が破損したり、故障の原因となることがあります。

警告

- ・ AC100V (50/60Hz) の電源電圧にてご使用ください。規定以外の AC 電源にて使用すると故障し、火災、感電等の原因となります。
- ・ アースを確実に取り付けてください。取り付けない場合、故障・漏電の際に感電の原因となります。また、ノイズ混入の原因にもなります。
- ・ 本装置を設置する前に、電源ケーブル、入力プラグ、出力コンセントに破損のないことを確認してください。破損したものを使用すると、故障、火災、感電等の原因となります。
- ・ 本装置に接続されているケーブル類は曲げたり束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。ケーブルが破損し、感電や火災の原因となります。
- ・ ケーブル類の接続が不完全のまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災の原因となります。
- ・ コンセント、ケーブル、本装置の背面コネクタは水等で濡らさないでください。感電や火災の原因となります。
- ・ 電源ケーブルの抜き差しは、本装置をオフにし、電源を切ってから入力プラグ部分を持って行ってください。電源ケーブルの破損により感電や火災の原因となります。
- ・ 電源はコンセントから直接とり、タコ足配線はしないでください。コンセントが過熱し、火災の原因となります。
- ・ UPS の最大入力電流以上の電流容量のある電源コンセントに接続してください。電源配線が発熱する事があります。
- ・ 電源ケーブルの接続に延長コードが必要となるようなコンセントから離れた場所に設置しないでください。無停電電源装置の電源仕様に合っていない電源ケーブルに接続すると、電源ケーブルが過熱して火災の原因となります。
- ・ 機器の配線は 2 極 3 線式の交流電源をお使いください。この電源はヒューズやブレーカー等の電気遮断装置に配線されている必要があります。遮断装置を介さない電源への接続は感電の原因となる場合があります。
- ・ 配線の工程を必要とする電気機器の設置は、必ず電気工事の有資格者に依頼してください。
- ・ 危険な状態での単独作業は避けてください。
- ・ 導電体を通じて多量のショート電流が流れると、重度の火傷などの原因になる事があります。

注意

- ・ 電源ケーブルを足でひっかけるといった場所には配線しないでください。つまずいて怪我をすることがあります。
- ・ 無停電電源装置の電源ケーブルを接続するコンセントの接地線を他の機器の接地線（とくに大電力を消費する機器等）と共用しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- ・ 本装置はシーケンサ等の電圧波形によって動作を左右されるような工作機械への使用には適していません。
- ・ この装置は、短時間の商用電源変動に対応する無停電電源装置ですが、商用電源が常に不安定な環境における商用電源の修正を目的とした使用には適していません。
- ・ レーザープリンターを本装置のバックアップコンセントに接続しないでください。レーザープリンターは、定期的に著しい電力を消費するため、本装置が過負荷状態になる可能性があります。

電源を切る際の安全確保のために

- ・ 機器にバッテリーなどの内部電源を搭載している場合は、装置が AC 電源に接続されていない場合でも出力側に電力が発生する場合があります。
- ・ UPS の電源を切るには、2 秒以上 OFF ボタンを押し、機器の電源を切ります。次いで、AC 電源ケーブルをコンセントから外して、バッテリーを外します。



無停電電源装置は、一般事務室における事務処理用として開発されたものです。したがって、以下のような用途には使用しないでください。

- ・ 人体／生命に重大な影響をおよぼすような医療機器の制御
- ・ きわめて高度な信頼性を要求される原子力／航空宇宙機器等の制御
- ・ 工作機械の制御
- ・ 交通機関（電車や自動車等）の制御や管制

バッテリーの安全確保のために



- ・ バッテリーは定期的に交換してください。
- ・ バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。また皮膚に付着したり目に入った場合、火傷や失明することも考えられます。万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で洗浄して、医師に相談してください。
- ・ 本装置はバッテリーを使用しています。本製品のバッテリーを火の中に入れてください。有毒ガスの発生や爆発、破裂したりする危険性があります。
- ・ バッテリーが液漏れを起こした場合は火気を近づけないでください。
- ・ バッテリーが液漏れを起こした場合、同時に水素ガスが漏れている可能性がありますので、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。
- ・ 可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないでください。バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。
- ・ バッテリーを金属物でショートさせないでください。火傷をしたり、火災を引き起こす事があります。また、使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



警告

- ・バッテリーの取扱いでは短絡大電流による感電または火傷のおそれがあります。
- ・次の注意事項を必ず守ってください。
 - ・時計、指輪、ネックレスまたはその他の金属物を外してください。
 - ・絶縁された取っ手のついた工具を使用してください。
 - ・バッテリーの上に工具または金属部品を置かないでください。
- ・バッテリー配線またはコネクタは絶対に交換しないでください。配線の交換は傷害の原因になります。
- ・最初に UPS に取り付けられていたバッテリーと同一仕様のバッテリーに交換してください。APC 製のバッテリー以外はサポートしかねますのでご了承ください。
- ・UPS がバッテリー運転のときに、バッテリー交換をしないでください。
- ・バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。
- ・バッテリーの寿命は使用温度条件や負荷容量、放電回数によって大きく変化します。
- ・本装置周辺の荷物の積み上げ等で換気が妨げられた場合、バッテリーの温度が上昇し、寿命が短縮します。
- ・本装置は周囲温度が 5～25 °C の範囲内で管理することをお薦めします。

バッテリーのリサイクル

バッテリーに関する情報は下記 URL にて公開しています。

インターネット: <http://www.apc.com/jp/>

バッテリーは必ずリサイクルしてください。古いバッテリーは適切なリサイクル施設まで届けるか、新しいバッテリーの梱包材に包んで送り状に“RBC 交換済み廃棄バッテリー在中”と記述し、廃棄バッテリーであることをご記入のうえ、弊社指定の下記住所までお送りください。詳しくは新しいバッテリーの説明書をご覧ください。(詳細については下記の **シュナイダーエレクトリックへの連絡方法** を参照)

・使用済みバッテリー送付先(弊社指定交換用バッテリーご購入時)

〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 38-25

(株)ダイセキ MCR 内 シュナイダーエレクトリック株式会社 サービスセンター

使用済みバッテリー受付係 TEL:028-664-2228

s-info@daiseki-mcr.com

シュナイダーエレクトリックへの連絡方法

弊社連絡先は、下記 URL からご確認ください。

インターネット: <http://www.apc.com/jp/>

3. 仕様

全般

項目	仕様・機能		規格・備考
	BE550M1-JP	BE750M2-JP	
運転方式	常時商用		
冷却方式	自然空冷		

外形寸法

本体 H×W×D [mm]	139 × 327 × 105		
梱包時 H×W×D [mm]	190 × 415 × 166		

質量

正味質量	4.3kg	4.6kg	
梱包質量	5.0kg	5.3kg	

交流入力

定格入力電圧	AC100V		
相数	単相 2 線		アース付き
定格入力周波数	50/60Hz±3Hz		自動検出
最大入力電流	12A		
入力ブレーカー定格	15A		
入力ケーブル長	1.52m		入力プラグを含まず
入力プラグ形状	NEMA 5-15P		標準プラグ

交流出力

定格出力電圧	AC100V		
相数	単相 2 線		アース付き
定格出力周波数	50/60Hz		入力電源に同期
最大出力容量	550VA/330W	750VA/450W	
出力コンセント形状	NEMA5-15R		
出力コンセント数	合計 9 個 バックアップコンセント×6 個、 サージ保護のみコンセント×3 個		
バッテリー運転時の出力電圧	AC100V ±8%		
バッテリー運転時の出力周波数	50/60Hz±1Hz		
バッテリー運転時の出力波形	矩形波		
対応負荷力率	0.60 以上 1.0 以内		

3. 仕様(つづき)

切り替え特性

項目	仕様・機能		規格・備考
	BE550M1-JP	BE750M2-JP	
外部電源動作の入力電圧下限	初期設定：90V 設定範囲：87-93V		
外部電源動作の入力電圧上限	初期設定：110V 設定範囲：107-113V		
停電時切り替え時時間	通常 6ms, 最大 10ms		

バッテリー仕様

バッテリー形式	小形シール鉛蓄電池		長寿命タイプ
バッテリー仕様	12V / 7.2Ah	12V / 9Ah	
バッテリー個数	1 個		
バッテリー通常寿命	使用温度	交換目安	放電回数と周囲温度によって変化する。 ※交換目安は、保証値ではありません。
	5~25°C	4.0~5.0 年	
	30°C	2.8 年	
	35°C	2.0 年	
充電時間	10 時間	8 時間	90%容量までの充電時間
充電動作	AC 入力給電により充電		電源スイッチ OFF 状態でも充電
交換用バッテリーキット型番	APCRBC122J	RBC17J	

3. 仕様(つづき)

サージ/ノイズ抑制			
項目	仕様・機能		規格・備考
	BE550M1-JP	BE750M2-JP	
サージエネルギー率 (1回 10/1000 μ s)	255J		ノーマルモード
	380J		コモンモード
サージ電流許容量(8 \times 20 μ s)	5000A		最大ピーク
サージ応答時間	<50ns		ノーマルモード
	<50ns		コモンモード
ノイズフィルタ	1MHz 時 14.6dB		ノーマルモード
	10MHz 時 33.2dB		
	1MHz 時 16.3dB		コモンモード
	10MHz 時 35.8dB		

電気特性			
突入電流	39.4Apk	59.2Apk	
消費電力	7W	9W	通常
	26W		最大
発熱量	25kJ/h	32kJ/h	通常時、全負荷
	94kJ/h		充電時、全負荷
1m 距離での可聴ノイズ	45dB 以下		オンライン運転時
漏れ電流	1mA 以下		
耐電圧	AC1500 V-1 分間		
安全規格、EMC	PSE		
管理ソフトウェア	PowerChute Personal Edition (対応 OS : Windows Vista/7/8/8.1/10/Home Server)		標準バンドル (Web ダウンロード)

3. 仕様(つづき)

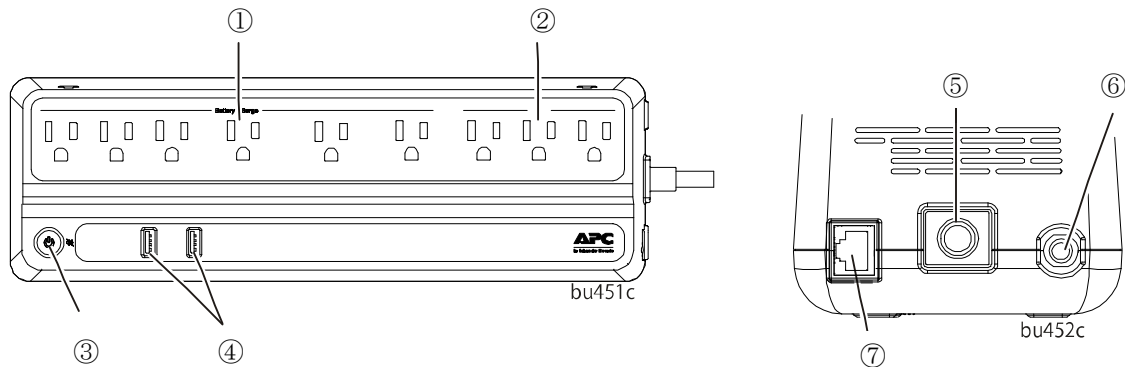
保護動作

項目	仕様・機能		規格・備考
	BE550M1-JP	BE750M2-JP	
過負荷保護	サージ保護のみコンセント 入力ブレーカー(15A)による保護		※バッテリー運転時に 有効
	バックアップコンセント 105%(検出) 120%以上(4秒後に停止)※		

使用環境

項目	仕様・機能	規格・備考
使用周囲条件	0~40℃	周囲温度
	0~95%(結露なきこと)	相対湿度
	3,000メートル以下 (10,000フィート以下)	最大高度
保存周囲条件	-15~40℃	周囲温度
	0~95%(結露なきこと)	相対湿度
	15,000メートル以下 (50,000フィート以下)	最大高度

4. 各部の名称



No.	名称	機能説明
①	バッテリーバックアップ およびサージ保護コンセント	このコンセントは、バックアップとしての機能のほか、サージ保護機能があります。停電時にはバッテリーから電源が供給されます。ただし、本装置の電源がオフになっている間は電源供給されません。バックアップコンセントには、停電時にバックアップが必要な装置を接続します。
②	サージ保護のみコンセント	このコンセントにはサージ保護機能はありますが、停電発生時にバッテリーによるバックアップはいたしません。入力ケーブルが接続されている場合、本装置の電源スイッチのオン/オフに関係なく、常に電源が供給されています。
③	電源スイッチ(電源 LED つき)	UPS の起動、停止および設定に使用します。また、LED により本装置の状態を表示します。
④	USB 充電ポート	本体が AC 電源およびバッテリーに接続されている場合、電源を供給します。
⑤	AC 電源インレット	壁コンセントに接続します。
⑥	ブレーカー	接続された負荷装置が UPS からの電源を過度に使用した場合は、ブレーカーが UPS を電源から切り離します。
⑦	PowerChute データポート	PowerChute Personal Edition をインストールし、付属の専用 USB ケーブルで PC と接続することで、UPS の設定を変更できます。

5. LED と警告音について

電源スイッチの下に LED があり、その LED の点灯状態や警告音の鳴り方により、本装置の状態をお知らせします。

状態	LED 表示	警告音	警告音停止の条件
電源オン - 本装置は、接続されている機器に調整された商用電源を供給しています。	緑色の点灯	なし	-
バッテリー運転 UPS はバッテリーバックアップコンセントにバッテリー電力を供給しています。	緑色に点灯し、2 秒ごとに 2 度点滅します。	アラーム音の状態はバッテリー運転インジケータモードの設定に依存します。詳細はバッテリー運転インジケータモード（アラーム設定）章を参照してください。	- クイックミュートを使用したとき。 - アラーム音は、AC 電源が復旧したか、または UPS の電源がオフになると停止します。 バッテリー運転アラームが聞こえるモードに対してのみ適用されます。
バッテリー容量低下通知 UPS はバッテリー電力をバッテリーバックアップコンセントに供給しており、バッテリーが完全放電に近い状態になっています。	緑色で早い点滅をします。		
ローバッテリーシャットダウン UPS がバッテリー運転している状態でバッテリーが完全放電しており、UPS はシャットダウンします。	なし		- AC 電源が復旧したとき。 - AC 電源は 32 秒以内に復旧しなかったとき。 - UPS がオフになったとき。
スリープモード UPS はシャットダウンし、AC 電源が復旧すると UPS も立ち上がります。	なし	なし	-
バッテリー交換 ・バッテリーが接続されていません。 ・バッテリーの充電または交換が必要です。	・赤色で点滅します。 ・緑色と赤色で交互に点滅します。	・連続音 ・連続音	- UPS がオフになったとき。 - バッテリーの接続が外れている場合、バッテリーを接続してください。
オンライン運転時の過負荷 この状態は、UPS が AC 電源を使用しており、接続された負荷が UPS の出力を超過する場合に起こります。過負荷が長時間にわたって起こる場合、UPS は過負荷シャットダウン状態に入ります。	オレンジ色で点灯	連続音	- 負荷が UPS から外されたとき。 - 負荷がブレーカー容量を超過し、UPS がオフになったとき。
過負荷によるシャットダウン バッテリー駆動時に、一つまたはそれ以上のバッテリーバックアップ出力において過負荷状態が発生しています。オンライン過負荷が長時間にわたって起こる場合にも当てはまりません。	なし	連続音	UPS がオフになったとき。
USB 検出失敗 ショートが検出されたか、エラーが発生しています。	緑色とオレンジ色で交互に点滅します。	なし	-

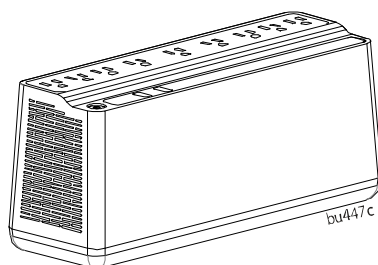
6. 操作手順

1. バッテリーを接続してください。

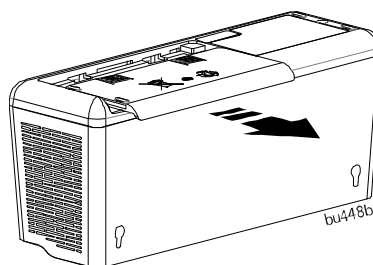
危険防止の理由から、本装置は内部のバッテリーケーブル 1 本が外された状態で出荷されています。下図を参照してバッテリーを接続してください。

備考：バッテリー接続時にコネクタから小さな火花が出る事がありますが、異常ではありません。

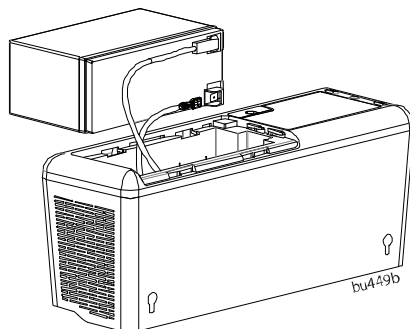
①出力部に貼られているラベルをはがします。



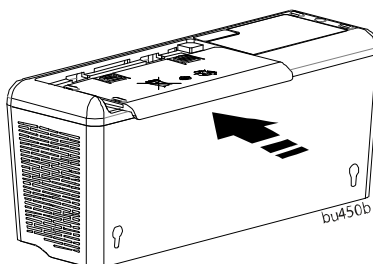
②UPS 本体の下部にあるバッテリーのコンパートメントカバーのリリースタブを押し、カバーをスライドさせて外します。



③バッテリーケーブルをバッテリー端子にしっかりと接続します。



④バッテリーのコンパートメントカバーを再度取り付けます。リリースタブが固定されていることを確認してください。



2. UPS をオンにする。

電源ボタンを押します。緑色に点灯し、短いビープ音が発せられ、UPS の電源がオンになり接続機器が保護されていることを示します。UPS バッテリーは、AC 電源に接続されている限り、UPS のオン/オフ状態に関係なく充電されます。UPS を初めてご使用の際には、24 時間の初期充電を行ってください。



UPS のバッテリーは 24 時間充電されるまではバッテリーバックアップ時間が短くなることもありますのでご了承ください。

7. 機能

クイックミュート

バッテリー運転のアラーム音を一時的にミュートできます。

アラーム音が鳴った際に電源ボタンを短い時間(2 秒未満) 押すと、状況が回復するまでの間、アラームは一時的にミュートされます。短い二重ビープ音が鳴り、クイックミュートが有効になったことを示します。電源ボタンを 2 秒以上押すと、UPS 電源がオフになります。

バッテリー交換や充電器の通知など、他の重要なイベントは一時的にミュートできません。このような場合は、本体の電源をオフにする必要があります。

バッテリー運転インジケータモード (アラーム設定)

UPS の電源がオンの状態にて、電源ボタンを押したまま 3 度目のビープが鳴るまで待つと、バッテリー運転インジケータを設定できるようになります。三度目のビープ音にて、電源ボタンは赤色と緑色に交互に点滅を開始します。電源ボタンから手を離すと、ボタンの色表示が UPS の現在のモードを示します。電源ボタンを押すと他のモードに切り替えられます。以下の表に 3 モードの色分け内容が記載されています。モードを選択した後、5 秒間待つと UPS はモード選択を確定します。

モード	視覚表示	音声表示	モード選択時の色
アラーム停止 (デフォルト)	電源ボタンは緑色に点灯し、2秒ごとに点滅します。バッテリー容量低通知に切り替わると、緑色に高速点滅します。	アラーム無し、バッテリー容量低下通知に切り替わると30秒ごとにアラームが2度鳴ります。	緑の点滅
アラームなし		UPS がバッテリー接続されている状態ではアラームは鳴りません。	赤が点滅
フルアラーム		アラームは 30 秒毎に4回鳴ります。バッテリー容量低下通知に切り替わるとアラームは 0.5 秒ごとに鳴ります。UPSがシャットダウンする際、4秒ごとにビープ音を一回鳴らします	オレンジ色に点滅

7. 機能 (つづき)

電圧感度の調整

UPS は線間電圧の歪みを検知すると、バッテリーのバックアップ電源に切り換え、接続された機器を保護します。UPS あるいは接続されている機器が入力電圧レベルに敏感すぎる場合は、切り替え電圧を調節する必要があります。

1. UPS を電源コンセントに接続した後、電源をオフにします。
2. 電源ボタンを 10 秒間押し続けます。電源ボタンは緑色と赤色に交互に点滅し、UPS がプログラミングモードに入ったことを示します。
3. 電源ボタンは緑色、オレンジ色、あるいは赤色に点滅し、現在の感度レベルを示します。切り替え電圧の感度レベルの説明については表を参照してください。
4. プログラミングモードを終了するには、5 秒そのままにするとすべての LED 表示が消灯します。プログラミングモードは有効にはなりません。

LED 点滅	感度設定	入力電圧範囲 (AC 操作)	推奨用途
緑	低	87 Vac ~ 113 Vac	電圧の変動や波形歪みにあまり敏感でない機器にこの設定を使います。
赤	中	90 Vac ~ 110 Vac	工場出荷時のデフォルト設定。 通常はこの設定を使います。
オレンジ	高	93 Vac ~ 107 Vac	接続されている機器が電圧や波形歪みに敏感な場合はこの設定を使います。

8. 保管

UPS の保管の際はバッテリーを十分に充電し、カバーを掛けて温度が低く乾燥した場所に保管してください。保管する前に少なくとも 10 時間充電します。バッテリーの消耗を避けるため、コンピュータインタフェースポートに接続されている全てのケーブルを外してください。

・ 長期保管について

本装置では、バッテリーを使用しています。そのため、保管中には定期的に補充電を行ってください。なお、電池工業会では小形制御弁式(シール)鉛蓄電池の取扱いの指針(電池工業会指針: SBA G0202)に基づき、以下のとおり補充電を必要とする時期を定義しています。

温度	期間
25℃以下	6ヶ月以内
30℃以下	4ヶ月以内
35℃以下	3ヶ月以内
40℃以下	2ヶ月以内

9. ランタイム

型番		BE550M1-JP	BE750M2-JP
最大出力 VA		550	750
最大出力 W		330	450
VA	W	バックアップ時間 (単位: 分)	
50	30	121	122
100	60	57	58
150	90	24	36
200	120	23	25
250	150	16	19
300	180	12	15
350	210	9	12
400	240	6.5	9.5
450	270	5	8
500	300	3.5	6.5
550	330	2.6	5.5
600	360	-	5
650	390	-	4
700	420	-	3.5
750	450	-	3

上記バックアップ時間は力率=約0.60の負荷を想定した値となります。

また、数値に関してはあくまでも参考値であり、実際のバックアップ時間は充電状態、周囲温度、使用年数等により異なります。

10. 製品保証

保証範囲

シュナイダーエレクトリック株式会社は、商品に対して下記で示した期間の無償保証を行います。

但し、日本バージョンの日本国内で使われているUPSに限ります。

この保証は天災や事故によるダメージ、お客様の過失、間違った使用や改造したUPSには適用されません。

保証期間及び各保証範囲

1 無償保証

- ・購入日より起算して3年間。
- ・無償保証期間内でも次の場合は有償扱いになります。
 - 1) ご使用上で誤り、又は改造や不当な修理改造による故障及び損傷。
 - 2) お買い上げ後の不適切な取り扱い（例：落下）、あるいは引越、輸送等による故障及び損傷。
 - 3) 火災、地震、落雷等による天災地変ならびに公害や異常電圧。その他、外部要因による故障及び損傷。

2 有償保証

- ・無償保証期間3年経過後の商品

3 供給及び修理の継続

- ・購入日より起算して5年間の保証とします。

生命維持に関する方針

1 一般的な方針

シュナイダーエレクトリックは、一般的な方針として生命維持装置に当社のいかなる製品もご使用いただくことをお勧めしません。生命維持装置では、APC 製品の障害や誤動作によって生命維持装置に障害が発生したり、それらの装置の安全性や有効性が著しく損なわれることが当然予期されます。シュナイダーエレクトリックは(a)ケガや損傷の危険性が最小となっており、(b)お客様がそのようなすべての危険性を承知し、(c)その状況のもとでシュナイダーエレクトリックの責任が十分保護されることが書面で十分保証されるまでは、生命維持装置の領域で使用することを承知しながら当社の製品を販売することはいたしません。

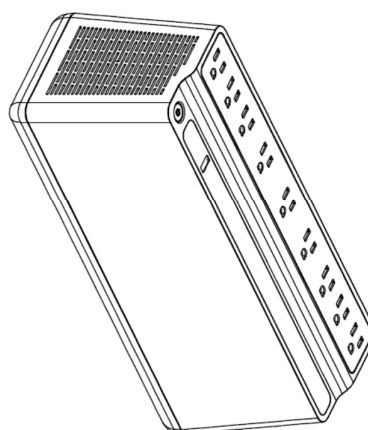
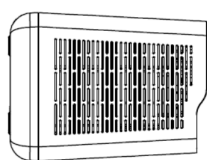
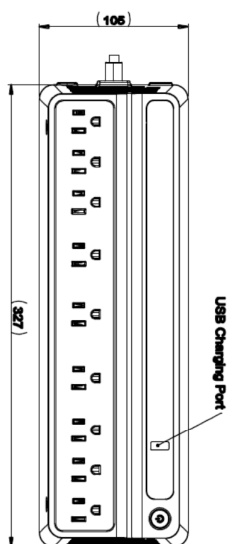
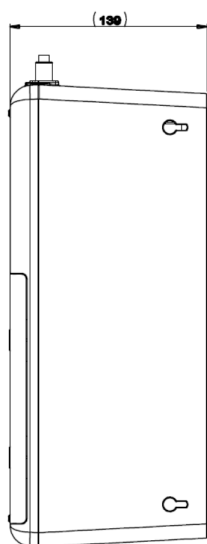
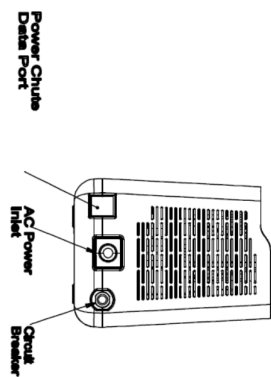
2 生命維持装置の例

生命維持装置とみなされる装置の例としては、新生児酸素分析装置、神経刺激器（麻酔、鎮痛等に使用）、自動輸血装置、血液ポンプ、細腫除去器、不整脈検出器および警報器、ペースメーカー、血液透析システム、腹膜透析システム、新生児人工呼吸保育器、大人/子供兼用人工呼吸器、麻酔人工呼吸器、点滴ポンプ、および合衆国食物医薬品局が「生死に関わる」と指定したその他すべての装置があげられます。

多くのAPC UPS システムに対し、オプションとしてAPC 社製品以外の「病院等級/医療機器等級」の配線装置と漏れ電流装置を注文ができるものがありますが、シュナイダーエレクトリックではこのような修正が施された装置が、弊社または他の組織によって「病院等級/医療機器等級」として認定あるいは分類されていると提言するものではありません。

11. 外形图

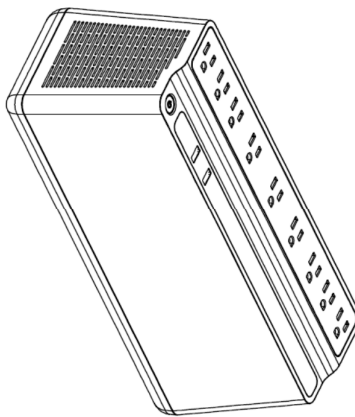
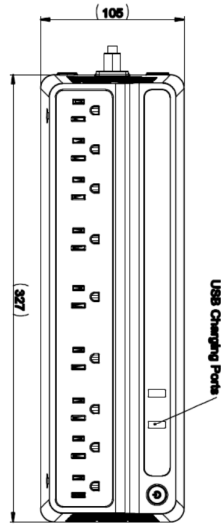
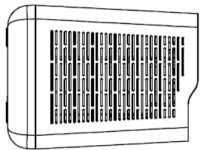
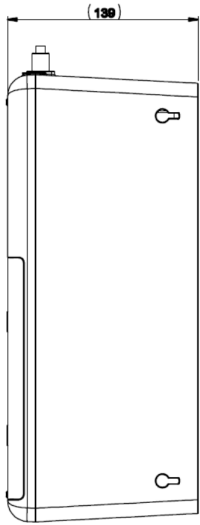
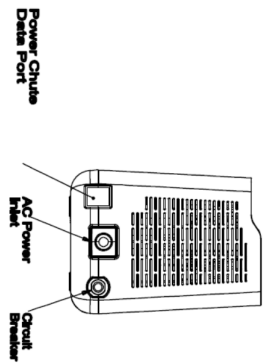
BE550M1



单位: mm

11. 外形図(つづき)

BE750M2



単位: mm